

タイトル	<h1>スマート自治体の推進</h1>
------	---------------------

ねらい・目的

A グループ

- 行政のデジタル化を推進し、住民サービスの向上を図ります。
- 職員の担うべき業務に注力します。

施策・事業内容

取組テーマ 1	W i - F i 環境の整備
---------	------------------------

《施策・事業内容》

- 災害時の情報取得手段として、公共施設にW i - F i を整備します。
- 窓口に来庁した住民に対し、今後、町から発信する“新しいアイデア”に基づくコンテンツ（動画等）を町民に知らしめるなど、公共施設で行われる事業・イベントとW i - F i を経由した多様なツールにより連携したサービスとして提供します。

賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革が推進できる。 ・W i - F i 環境の整備が学校教育、防災、防犯など、様々な分野で活用できるので良いと思った。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・W i - F i 環境と高齢者のフォローが必要。 ・スマホとかが無い人はどうするか？ ・高齢者への配慮を欠かさないように進められるか？
改善策			
○メール配信、防災無線、個別受信機、テレビ、ラジオなど1つに特化するのではなく、複数のツールを確保する。			

取組テーマ 2	デジタル化の整備
---------	-----------------

《施策・事業内容のアイデア》

- 「書かない窓口」を導入します。
- A I チャットロボット、R P A (Robotic Process Automation) を導入します。
- 公共施設の予約アプリの導入、新たな移動手段としてのデマンドタクシーの導入を検討します。

賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微な業務（作業）が減るのでありがたい。 ・書かない窓口は、町民負担が減りそうで良い。 ・住民サービスの向上につながる。 ・効率アップができる。 ・デマンド交通の必要性は今後増える。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン申請を増やしては？ ・サービス向上のため、窓口業務の民間委託とスマート化を一体的に実施する。 ・デマンドタクシーの導入
改善策			
○オンライン申請はマイナンバーカードの普及が必要であるため、啓発を継続的に実施していく。			

○ふれあいバスを中心として、タクシー（デマンド、チケット）などを併用する。まずはニーズ調査が必要である。

取組テーマ 3 防災に活かすための情報発信・収集

《施策・事業内容のアイデア》

- SNS等を活用し、被害情報の収集を行います。
- 河川水位などのピンポイント情報を発信します。

賛同	・被害情報の収集が良い。 ・情報の広域化、上流の情報をリアルタイムに知りたい。	改善	
改善策			

ねらい・目的

B グループ

- 世代をつなぐ
- 地域をつなぐ（現状も色々な団体がサポートしてくれているが）
- 所属・団体をつなぐ

施策・事業内容

取組テーマ 1 子育て支援ネットワークの強化

《施策・事業内容》

- 横断的なイベント・行事を実施します。
- 異年齢や世代間の交流ができる場をつくります。
- 人と人との交流、体験の場づくりを行います。
- 社会全体で子育て・保育を実施します。（家庭内と地域で子育て、親育て、孫育てを行います。）
- 地域全体で家庭教育、虐待防止を支えるしくみづくりを行います。
- SOSが出せる環境づくりを行います。
- 相談事業を充実します。
- 子育てと仕事が両立できる環境づくりを行います。

賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいの設定はとても良いと思う。 ・団体間、各課間の横のつながりが重要。その方法は課題。 ・ふれあい祭りのような町全体を巻き込むイベントが増えれば良いと思う。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、地域、所属・団体をつなぐのに、行政がどのように関わるのかが難しい。 ・世代をつなぐことを考えたら、まず出会いの場を行政が用意する。次にキーパーソンづくり ・色々な方法でつないでみる。できるところから。 ・LINEの活用を検討したら？
改善策			
<ul style="list-style-type: none"> ○各団体や行政が情報共有できる場を作る。 ○地域の支援者の養成講座などによるキーパーソンづくりを行う。 			

ねらい・目的

C グループ

■組織の弱体化と担い手不足の解消を図ります。

施策・事業内容

取組テーマ 1 新しいコミュニティの創出 ～良い距離感づくり～

《施策・事業内容》

- 組織の弱体化を解消するため、新しいコミュニティ単位を創出します。
- 同好会的な活動を支援し、つながる場を設けながら、新しいコミュニティとして育成します。
- 子育て世代同士、同じ趣味同士なども新しいコミュニティとして捉え、それぞれをつなぐイベント等を実施します。
- 既存のつながり（近所、地区等）を超えて、例えば防災対策に最適なコミュニティ単位を設定（新しくグループ化）して地域防災を進めます。
- 新しいコミュニティをベースにした、地域の新しいつながりを生み出す担い手として、イベントの募集、情報発信等については民間のノウハウを最大限に活用する。

賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・良い距離感はこの時代の時代 ・良い距離感はいいと思う。 ・良い距離感って大切ですね。 ・民間を活用して担い手不足を解消するアイデアは良いと思う。 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の思う距離感と住民が思う距離感と同じなのでしょうか？
改善策			
○思い（想い）の距離、立ち位置の距離、地図上の距離、それぞれ・・・			

取組テーマ 2 地域活動の見直し

《施策・事業内容のアイデア》

- 区長要望のあり方、町の関わり方を見直し、地域の自立・活性化を促すしくみを検討します。
- おい（おい）てきぼりをなくす。
- 広域連携を遊び（町民の幸福度向上のための）にも当てはめる。
- SNS等を活用し、家に居ながらイベントを体感できるようにします。
- 町外にサテライト会場を設け、町の紹介や新しいコミュニティ向けのイベントを実施します。

賛同	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や自分達で考えることは、地域力の向上になり、良いと思う。 ・地区振興助成金は、区独自に用途を決めている。(決められる) ・工事等はやはり最終的には町がジャッジするべきか？ 	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・掘り起こしだけでなく、事業等の定義が必要と思われる。そのための財政支援は？ ・町外のサテライトで何をアピールするのか？(地場品、事業?)
改善策			
<ul style="list-style-type: none"> ○行政がやらなければという観念からの脱却(行政サービスからの脱却) ○地域での合意形成のプロセスの見直し ○地域毎の困り事はそれぞれ異なるため、事業も定義しつつ、効果促進をねらう支援策を検討する。 			

取組テーマ 3	公共交通の整備
----------------	----------------

《施策・事業内容のアイデア》

- 公共交通と福祉交通とを分離し、オンデマンドバス等を運行します。
- 公園や町外の施設(菰野町、長島町等)をコミュニティバスと他の公共交通でつなげます。
- 高齢者対策として、買い物のIT化を支援します。

賛同	・公共交通の手段が増え、住民がいきいきと暮らせるようになる。	改善	・外に出ること、集まる場所の提供も必要かも。
改善策			
○集まる場所は行政が用意するだけでは駄目なため、個々やコミュニティが選択できるようにする。そのために掘り起こしを行う。			